

2009年8月11日05時07分頃の駿河湾の地震について（第2報）

○地震の震源及び規模等

発生日時	平成21年8月11日05時07分
場所	北緯 34度47.1分 東経 138度29.9分 深さ 23km
規模	マグニチュード6.5（暫定値）
最大震度	6弱（静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市）
発震機構	横ずれ成分を持つ逆断層型（圧力軸は北北東-南南西方向）

○余震の発生状況

8月11日05時07分に発生した駿河湾の地震による余震は、北西から南東に延びる長さ約20km、幅10～15kmの範囲に分布しています。

12日14時までに震度1以上を観測した余震は18回です（最大震度別地震回数表参照）。これまでのマグニチュード4以上の余震は、11日06時13分に発生したM4.0の地震（最大震度2）、11日06時27分に発生したM4.4の地震（最大震度3）、および11日18時09分に発生したM4.4の地震（最大震度2）です。

余震活動は順調に減衰しています。また、今回の地震の余震回数は、内陸および沿岸付近で発生したM6クラスの地震に比べ、少ない状況で推移しています。なお、過去に今回の地震の震源付近で発生した地震においても、余震活動は低調でした。

○余震の見通し

余震は次第に少なくなってきましたが、今後1週間程度は、場所によっては震度4～5弱程度となるような余震が発生するおそれがあります。

○防災上の留意事項

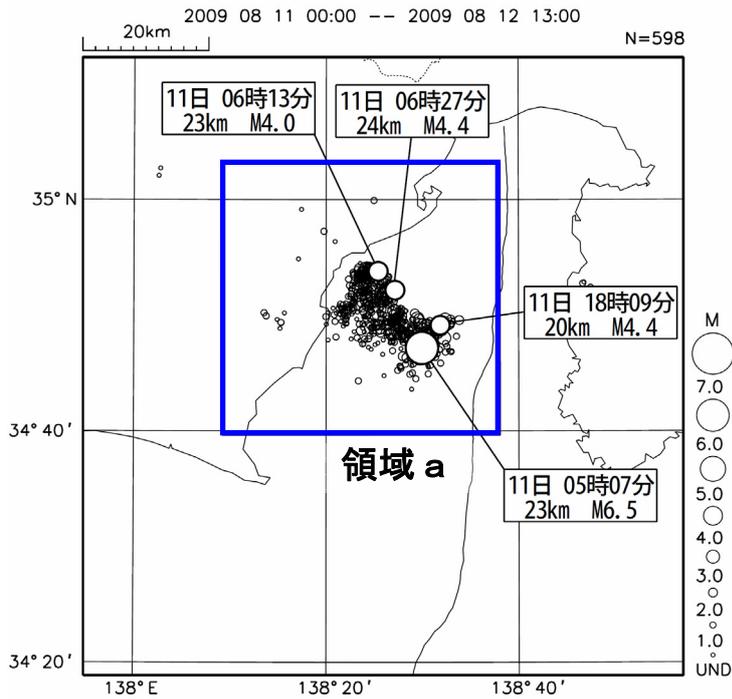
揺れの強かった地域では、降雨や余震活動により土砂崩れなどが発生する危険性が通常より高くなっていますので、作業等には十分注意して下さい。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部地震津波監視課 03-3212-8341(内線 4542)

地震予知情報課 03-3212-8341(内線 4562)

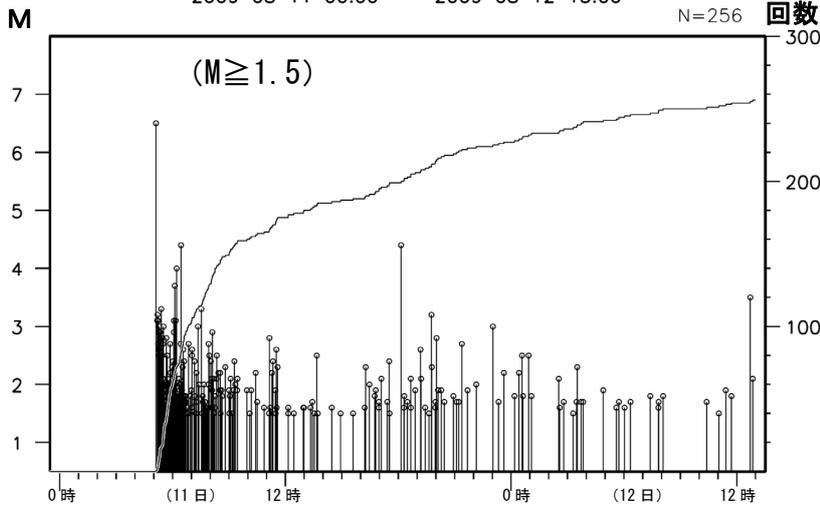
駿河湾の地震活動

震央分布図 (Mすべて)

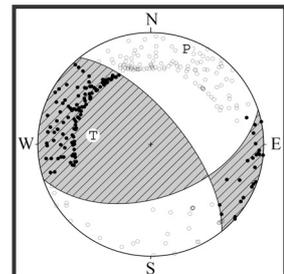


領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

2009 08 11 00:00 -- 2009 08 12 13:00

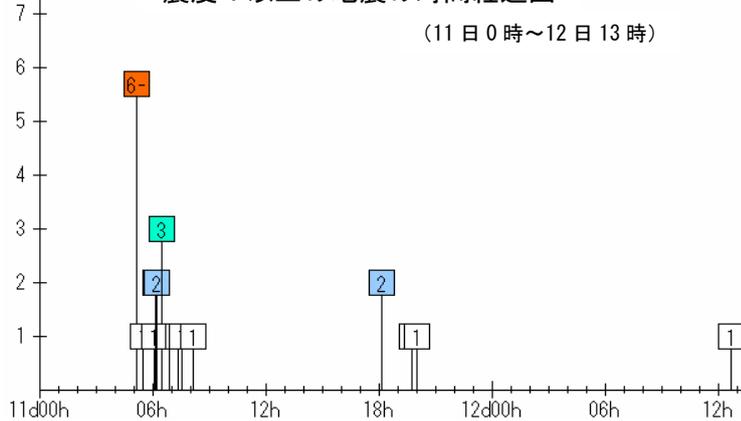


今回の地震の初動発震機構解 (暫定)

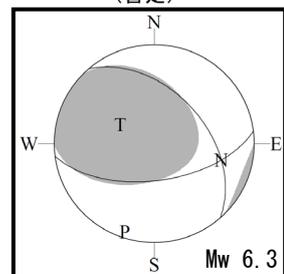


震度 1 以上の地震の時間経過図

(11日 0時 ~ 12日 13時)



今回の地震の CMT 解 (暫定)



駿河湾の地震(平成21年8月11日05時～)

最大震度別地震回数表(本震を含む)

*この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

日別地震回数

期 間	最大震度別回数									震度1以上回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
08/11 05:07-24:00	13	3	1	0	0	0	1	0	0	18	18	
08/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19	
総計	14	3	1	0	0	0	1	0	0	19	-	

時間別地震回数

H21.08/11

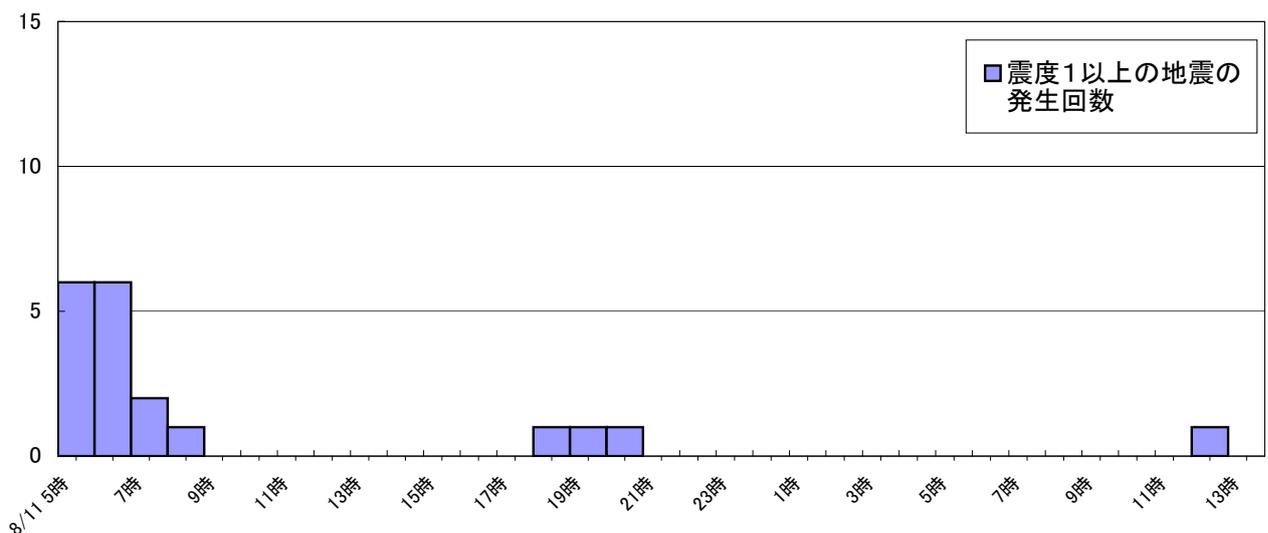
時間帯	最大震度別回数									震度1以上回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
05:00 - 06:00	5						1			6	6	
06:00 - 07:00	3	2	1							6	12	
07:00 - 08:00	2									2	14	
08:00 - 09:00	1									1	15	
09:00 - 18:00										0	15	
18:00 - 19:00		1								1	16	
19:00 - 20:00	1									1	17	
20:00 - 21:00	1									1	18	
21:00 - 24:00										0	18	
日累計	13	3	1	0	0	0	1	0	0	18	-	

H21.08/12

時間帯	最大震度別回数									震度1以上回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
00:00 - 12:00										0	18	
12:00 - 13:00	1									1	19	
13:00 - 14:00										0	19	
日累計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	

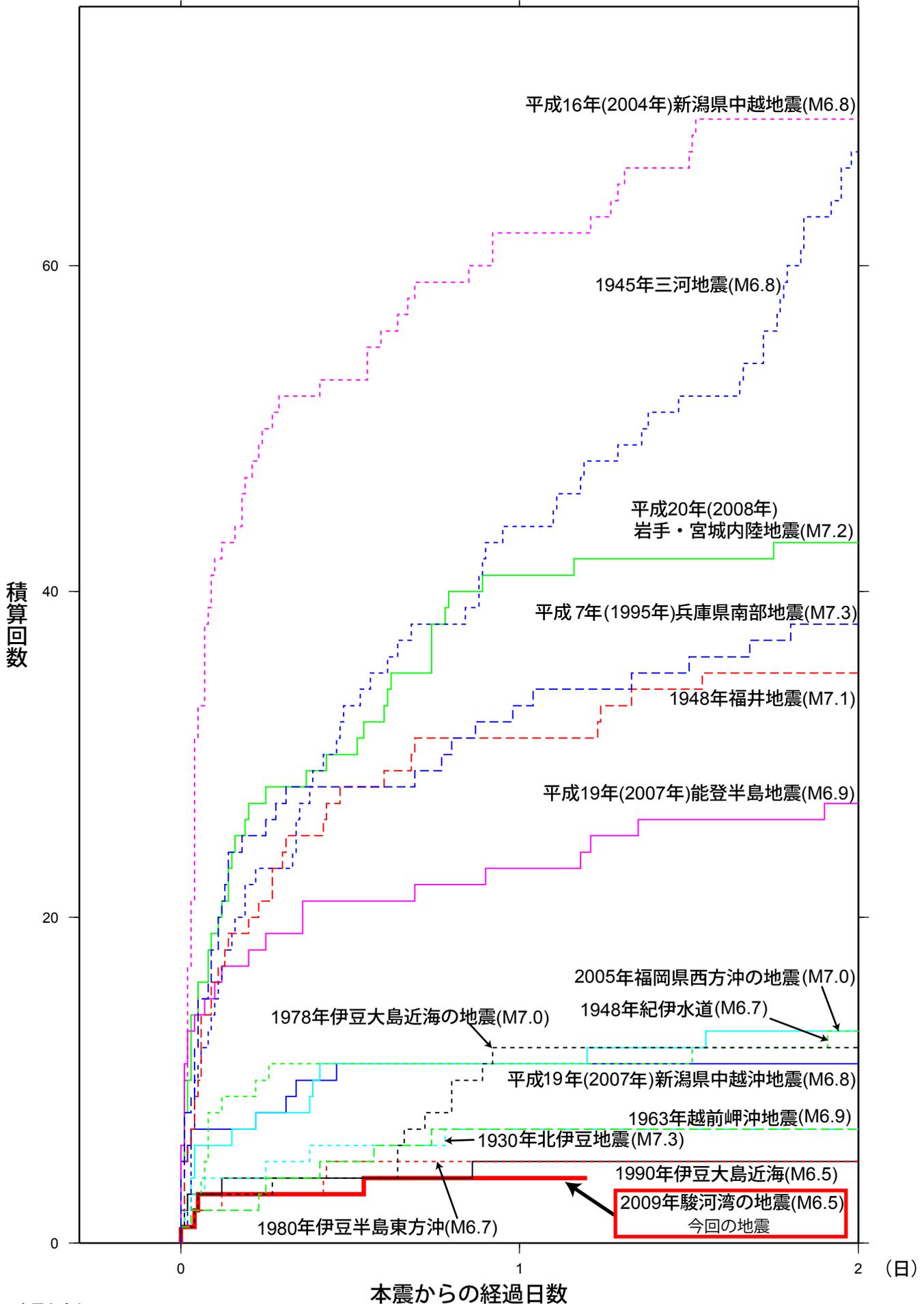
駿河湾の地震(平成21年8月11日5時～)

回数(回)



内陸及び沿岸で発生した主な地震の 余震回数比較 (マグニチュード4.0以上)

2009年08月12日10時00分現在



※本震を含む。
 ※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

(参考) 余震発生確率 (平成 21 年 8 月 12 日 11 時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	8 月 12 日 15 時から 3 日間以内	8 月 12 日 15 時から 1 週間以内
マグニチュード 5 以上の余震が発生する確率	-	10%

表中の - は、10%未満を示します

マグニチュード 5: 場所により震度 4~5 弱になると予想されます*

* 地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる場合があります。

・余震発生確率を算出するにあたっての前提

これまでの地震活動の推移から、本震—余震型であることを前提として、余震発生確率を算出しています。

・本震—余震型の特徴

本震—余震型の地震活動では、最初に最も規模の大きい本震が発生し、それに続いて余震が多数発生します。余震の発生数は大局的には時間とともに徐々に減少していきます。ただし、余震の減少の仕方は様々で、単調に減少していくこともありますが、場合によっては減少していく過程で増減を繰り返すこともあります。

・余震発生確率の意味

ある大きさの余震に注目した場合に、その大きさの余震が、ある時点からある期間内に発生する確率を余震発生確率と言います。例えば、マグニチュード 5.0 以上の余震がある時点から 3 日間以内に発生する確率が 10%である場合、3 日間以内にマグニチュード 5.0 以上の地震が必ず発生するとは評価されませんが、全く発生するおそれはないという評価でもありません。同様な地震活動の場合、10 回発表したうちの 1 回は 3 日間以内にマグニチュード 5.0 以上の余震が発生するという意味です。

なお、余震発生確率 10%という確率は低いように思えますが、平常時、日本国内のどこにあっても、内陸でマグニチュード(M)6.0 以上の地震が 3 日以内に半径 50km 以内で発生する確率は 0.01%程度、M5.0 以上の地震では 0.07%です。